

特定外来生物

サクラやウメを
食い荒らし枯らす!

クビアカツヤカミキリ 警戒中!!!

木クズを見つけたら
要注意!!



フラス

(幼虫のフン・木クズ)

©(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所

つかまされると
臭い液を出す

胸部(首の部分)
が赤い!

実寸大
(体長 2.5~4cm)



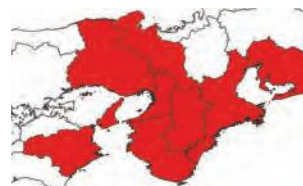
5月末~8月頃
成虫発生!

光沢のある
黒いボディ

成虫を見つけたら、
踏み潰すなどして駆除を!

もともと日本にいなかった外来のカミキリムシですが、2011年に埼玉県で確認されて以来、急速に分布を拡大しています。

クビアカツヤカミキリの侵入地域(2024.7)



京都では2024年7月に
初めて確認されました

大阪、兵庫、奈良など近隣地域でも被害拡大中!

国土交通省国土数値情報(行政区域データ)(<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-N03-2024.html>)をもとにぎょうと生物多様性センター作成

木の内部を食い荒らし 枯らす!

主にサクラやウメなどのバラ科の樹木に付き、幼虫が木を内部から食い荒らします。木からは大量のフラス(幼虫のフンと木クズが混ざったもの)が排出され、侵入された木は弱り、枯れてしまいます。

防除のご協力をお願いします。 みなさまの力で京都のサクラ等を守りましょう!

見つけたら京都府まで
通報をお願いします

京都府 自然環境保全課

TEL/FAX 075-414-4706 / 075-414-4705
メール shizen-kankyo@pref.kyoto.lg.jp

WEB フォームでの
通報はこちらから



影響

もしクビアカツヤカミキリの被害が拡大したら…

⚠️ お寺や神社の **サクラやウメが枯れてしまう!**

⚠️ 桜の名所が **なくなる!**

⚠️ ウメやモモなどの **果樹が作れなくなる!** かも…



© (地独)大阪府立環境農林水産総合研究所

< 樹木内の幼虫 >

被害を防ぐためには **早期発見が重要!**

クビアカツヤカミキリの幼虫は
およそ **2年間** も木の中にいる



4月~10月頃
確認がしやすい!

探す
手がかりは

フラス

(幼虫のフンと木クズが混ざったもの)

<クビアカツヤカミキリの一生>

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

1年目		卵	幼虫
2年目	幼虫	蛹室をつくる	幼虫 (蛹室内)
3年目	幼虫 (蛹室内)	蛹 → 成虫	成虫

初夏~盛夏に卵を
木に産みつける

脱出

フラスの特徴

よく見られるフラスの様子



© (地独)大阪府立環境農林水産総合研究所

2~5mm ほどの太さで、
ひき肉のように
連なって出てくる

フラスの拡大写真

拡大すると、木くずはスプーンで
くりぬいたような形をしている



被害の進んだサクラ

被害が激しくなると、
木の地際に大量の
フラスがたまってくる



© (地独)大阪府立環境農林水産総合研究所

もしも発見したら…

成虫の捕殺や被害木に防風ネットを巻き付ける
などの防除のご協力をお願いします。

参考文献：国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所「クビアカツヤカミキリの防除法」

- 首の赤いカミキリムシを見つけた
- サクラやウメから木クズが大量に出ている

ご連絡ください

WEB フォームでのご連絡はこちらから→



© (地独)大阪府立環境農林水産総合研究所

京都府 自然環境保全課

TEL 075-414-4706 FAX 075-414-4705

メール shizen-kankyo@pref.kyoto.lg.jp

クビアカツヤカミキリ
について詳細はこちら→
<https://www.pref.kyoto.jp/gairai/kubiakatsuyakamikiri.html>

